

患者向医薬品ガイド

2023年6月更新

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g「タカタ」56噴霧用 フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g「タカタ」120噴霧用

【この薬は？】

販売名	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液27.5 μ g 「タカタ」56噴霧用 Fluticasone Furoate 27.5 μ g “TAKATA” 56 metered Nasal Spray	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液27.5 μ g 「タカタ」120噴霧用 Fluticasone Furoate 27.5 μ g “TAKATA” 120 metered Nasal Spray
一般名	フルチカゾンフランカルボン酸エステル Fluticasone Furoate	
含有量	(1瓶6g中) 3.0mg	(1瓶10g中) 5.0mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性鼻炎治療剤と呼ばれるグループに属する点鼻薬です。
- ・この薬は、鼻粘膜のアレルギー原因物質（ヒスタミン）を減少させ、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

アレルギー性鼻炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
 - ・全身の真菌症にかかっている人
 - ・過去にフルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・鼻やのどの感染症にかかっている人
 - ・くり返し鼻血が出る人
 - ・重い肥厚性鼻炎や鼻茸の人
 - ・長期または大量の全身性ステロイド療法を受けている人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は点鼻薬です。決して飲んだりしないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

	成人	小児
一回量	左右の鼻の穴に 2回ずつ噴霧	左右の鼻の穴に 1回ずつ噴霧
使用回数	1日1回	1日1回

- ・十分な効果を得るために、継続的に使用してください。

●どのように使用するか？

使用方法に関しては医師や薬剤師から説明を受けてください。使用説明書にも書かれていますので、よく読んで使用してください。

また、巻末の〔フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g 「タカタ」 56・120噴霧用の使い方〕も参照してください。

不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。

●**使用し忘れた場合の対応**

2回分を1度に使用しないでください。気付いたらすぐに1回分を使用してください。ただし、次に使用する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分使用してください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・全身性ステロイド*と比較して可能性は低いものの、点鼻ステロイド薬の連用により、全身性の作用としてクッシング症候群、クッシング様症状（肥満、満月様顔貌（ムーンフェイス）、筋力の低下など）、副腎皮質機能抑制（体がだるい、力が入らない、意識の低下、吐き気、嘔吐、食欲不振など）、骨密度の低下、白内障（かすんで見える、視力の低下、まぶしいなど）、緑内障（目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる）、中心性漿液性網脈絡膜症（視力の低下、目のかすみ、物がゆがんで見える）などがあらわれることがあるので、特に長期間使用したり、大量に使用したりする場合は、定期的に検査が行われます。また、小児が長期間使用する場合は、成長が遅れることがあるので、定期的に身長などの検査が行われます。
*全身性ステロイド：ステロイドと呼ばれるグループに属する薬のうち、飲み薬と注射のこと。この薬は点鼻薬なので全身性ステロイドではありません。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー 反応 アナフィラキシーはん の う	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき
口や喉	喉のかゆみ
胸部	息苦しい、動悸
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

販売名	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液 27.5 μ g 「タカタ」56噴霧用	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液 27.5 μ g 「タカタ」120噴霧用
性状	白色の均一な懸濁液の点鼻液	
形状		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液 27.5 μ g 「タカタ」56噴霧用	フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液 27.5 μ g 「タカタ」120噴霧用
有効成分	フルチカゾンフランカルボン酸エステル	
添加剤	結晶セルロース・カルメロースナトリウム、ブドウ糖、ポリソルベート 80、濃ベンザルコニウム塩化物液50、エデト酸ナトリウム水和物	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：高田製薬株式会社

(<https://www.takata-seiyaku.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-989-813

受付時間：9時00分～17時00分

(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液27.5 μ g〔タカタ〕 56噴霧用・120噴霧用を使用されている方へ

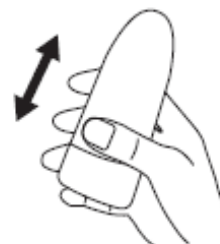
- ◆お薬を正しくご使用いただくために以下の事項をお守りください。
- 医師に指示された用法・用量を守って使用してください。
 - 鼻腔内噴霧用のみ使用してください。
 - 1容器中の噴霧回数(56回または120回)を超えて噴霧しないでください。
 - 噴霧口を針などで突くことはしないでください。
破損し、噴霧できなくなります。

お薬の使用法

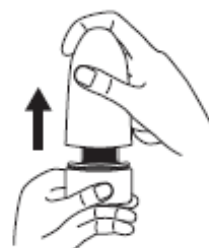
点鼻をする前に、鼻をかんで、鼻の通りを良くしてください。



噴霧器のキャップをした状態で、上下によく振ってください。



キャップはまっすぐ上に外してください。
※キャップはひねらないでください。



噴霧時は、イラストのように容器を斜めに傾けず、立てた状態でしっかりと持ってください。
※初回使用時または5日以上使用しなかった場合には、噴霧口を上に向け、空打ちを10回程度行ってください。
お薬が霧状に噴霧されることを確認してから使用してください。



お薬の使用法(裏面)に続きます

お薬の使用法（裏面）

15歳以上(1日1回左右 **2** 噴霧ずつ)



少し頭をうつむいた状態で、噴霧口を左右の鼻腔に入れ、1回ずつ噴霧してください。



お薬を噴霧後、顔を上に向けながら鼻の奥までお薬が行き渡るように、鼻から息を吸って口から吐いてください。



再び少し頭をうつむいた状態で、噴霧口を左右の鼻腔に入れ、1回ずつ噴霧してください。



お薬を噴霧後、顔を上に向けながら鼻の奥までお薬が行き渡るように、鼻から息を吸って口から吐いてください。

15歳未満(1日1回左右 **1** 噴霧ずつ)



少し頭をうつむいた状態で、噴霧口を左右の鼻腔に入れ、1回ずつ噴霧してください。

保護者が行う場合



上のイラストのように噴霧してください。



お薬を噴霧後、顔を上に向けながら鼻の奥までお薬が行き渡るように、鼻から息を吸って口から吐いてください。

噴霧後のお手入れと保管方法について

- 使用後は噴霧口をティッシュなどで拭いてから、キャップをしてください。
- 直射日光を避けて、保存袋に入れて室温で保管してください。

高田製薬株式会社

FTS-SI1(1)
2023年2月作成